

# こうざき 聡 夢からはじまる

http://www.kouzakisatoshi.com

## 県政報告

福岡県議会議員 神崎 聡

令和8年特別号



昭和37年9月20日生  
平成23年4月福岡県議会議員初当選  
平成27年4月二期目  
平成31年4月三期目  
令和5年4月四期目  
添田町立添田小学校・添田中学校卒  
福岡県立田川高等学校卒  
日本大学商学部会計学科卒  
麻生セメント株式会社入社・株式会社  
麻生情報システム転籍  
株式会社麻生情報システム代表取締役  
社長  
福岡県農林水産副委員長、福岡県総務  
企画地域振興委員長

高工労働常任委員会委員  
国際化・多文化共生社会調査特別委員会副委員長  
福岡県議会議員 神崎 聡  
福岡県議会を巡り、海外活動のあり方や金銭に関する問題などが相次いで報じられ、県民、田川地域の皆様にも多大なるご心配とご不信をおかけしておりますことを、深くお詫び申し上げます。

県民の税金を預かる議会自身が疑念を持たれている現状は、極めて重大な事態です。様々な情報が飛び交う今だからこそ、議員一人ひとりが事実を明らかにし、丁寧に説明していく責任があります。  
私はこれまでも、自らのホームページやSNS、県政報告を通じて、すべての活動を積極的に公開してまいりました。  
「説明できる政治」「見える県議会」が何より大事だと思っています。  
信頼を取り戻すために必要なのは、言葉ではなく「透明性」と「行動」です。まずはその姿勢を示すため、私の今期の海外視察に関する費用と実績をご報告いたします。

## 県民の信頼を

～説明責任を果たし、見える県政へ～



福岡県議会を巡り、様々な問題が報じられ、多くの県民の皆様にご心配とご不信をおかけしています。私は、県民の皆様のお金を預かる一人の県議会議員として、事実を隠さず、丁寧に説明し、情報を公開することが信頼回復の第一歩だと考えています。

### 率直なご意見をお聞かせください

- Q** 海外視察は本当に必要なのですか？
- A** 海外の先進事例を学び、福岡県の政策に活かすために必要だと考えています。明確な「成果」を県民の皆様へ「説明」することが絶対の条件です。
- Q** 今回の視察費用は適正だったのですか？
- A** 今期の海外訪問は、韓国への1回で、費用は約19万円です。県政報告書でオープンにしています。
- Q** 議会改革についてどう考えていますか？
- A** 県民の皆様の不信任を払拭するには、「お金の流れの透明化」と古い政治体質から脱皮した議会改革を進めます。

### 今期の海外活動とその費用（政務活動費）

| 訪問先        | 時期                | 目的                                | 費用    |
|------------|-------------------|-----------------------------------|-------|
| 韓国（ソウル・釜山） | 令和6年<br>2月22日～24日 | 2028年世界卓球選手権（団体戦）福岡大会の誘致活動および交流促進 | 約19万円 |

※ 詳細は、県政報告で全て公開しています。

### つながる・伝える・動く



皆様の信頼にお応えできるよう、誠実に、着実に、歩みを進めてまいります。



※令和6年春号（令和6年5月発行）より再掲載します。

福岡県日韓友好議員連盟（副会長）韓国公式訪問団2月22日～24日

※帰国直後の令和6年（2024年）2月24日ブログより（そのまま掲載しています）  
<http://kouzakisatoshi.com/hpgen/HPB/entries/2660.html>

2月定例会開会日の散会後の夜より、福岡県議会で韓国公式訪問団の一員（福岡県日韓友好議員連盟副会長）として韓国ソウル及びプサンを訪問した。

4期目に自民党県議団に入会し、福岡県日韓友好議員連盟副会長を拝命した。福岡県は、韓国の慶尚南道議会と平成24年5月に福岡県議会と友好交流協定書が締結されていて、両議会が平等互惠の原則に基づき、相互理解や友好親善を深め、両地域の人的交流をはじめ、文化・経済分野などの民間分野を含めた相互交流が活発に行われるよう相互に努力し、両地域の交流促進と繁栄を目指すことが掲げられている。福岡と慶尚南道は距離も近く、人口・産業構造も似ている。

また、ソウルでは韓日親善協会中央会の会長を表敬訪問・意見交換をする。日本歴代の総理の写真も額に飾っている。日韓両国の関係は政治情勢によって、政府間での難しい局面であるけど、青少年交流や文化交流等の地域間交流の大切さを改めて認識させられた。以前、緑友会として訪問した時には、ジェットロ・ソウル事務所や福岡県人会ソウル博多会と経済情勢の説明や日韓のビジネスについて意見交換させて頂いたが、企業出身者として大変参考になり、ジェットロの役割と使命や、福岡県人会の活動が、国際交流・友好関係に本当に重要な役割をしていることがわかる。県議会の国際交流の役割と使命は大きく、アジアの玄関口、福岡県にとって、経済交流・文化交流・青少年交流を強力に推進していき、グローバルな展開を図らなければ福岡県そして九州の発展はありえないと思っている。

【あらためて県民の皆様へ】

現在、福岡県議会の海外視察について様々なご意見をいただいております。

私は令和6年2月、福岡県議会韓国訪問団の一員として韓国を訪問しました。帰国後にはホームページ、Facebook、そして令和6年春号の県政報告で視察内容を報告しています。今回の県政報告では、その記事をそのまま再掲しました。税金を使う以上、県民の皆様へ説明することは議員として当然の責務であり、これからも県民の皆様への説明責任を大切にしたい議員活動に努めてまいります。

また、2028ITTF世界卓球選手権大会（団体戦）福岡県誘致のための訪問でもあった。「スポーツ立県福岡」を目指す福岡県では、これまで世界卓球の誘致実現のため、県議会、日本卓球協会、福岡県卓球協会、開催自治体と一体となって誘致活動を実施してきている。2022年世界卓球選手権の誘致実現には至らなかったものの、その後も継続的に誘致活動を展開している。福岡県卓球協会会長の井上順吾先生、そして福岡県スポーツ局も会場で合流し、今後、さらに国際大会誘致に向けた実績を積み重ねていく事になる。県民の皆さんが、トップアスリートの活躍に直接触れ、子どもたちが夢や希望を持つことができると思う。国内外からの誘客による地域経済の活性化を図る上でも是非実現してほしい。



【海外視察および政務活動費の支出に関するご報告とご説明】

1. 新聞報道にある「海外視察への政活費19万円」の事実について  
2026年7月2日の西日本新聞において、県議会議員の海外視察に伴う政務活動費の支出一覧が掲載されました。

私の過去3年間（2023～2025年度）における海外視察への政活費支出は、報道の通り「回数：1回、総額：19万円」のみです。

この1回とは2024年2月の韓国公式訪問（日韓友好議員連盟副会長としての公務）を指しており、それ以外の海外渡航への支出や、過去3年間で海外訪問はこの1回のみです。

2. 視察延期に伴う「キャンセル料」の充当について（読売新聞報道）

また、2024年10月の視察中止に伴うキャンセル料の支出についても報道がありましたが、これには以下の正確な経緯がございます。

当初の計画と延期：本来は2023年10月に訪韓を予定しておりましたが、政治情勢の急変（衆議院の解散・総選挙）が重なったため、訪問団全体の決定としてやむを得ず「延期」措置をとりました。

この延期に伴い発生したキャンセル料（約6万円）の処理については、個人の独断ではなく、事前に議会事務局へ相談・確認を徹底いたしました。事務局より「政治情勢の急変による訪問団としての延期決定であり、やむを得ない正当な支出である」との承認と明確な指導をいただいた上で、政務活動費を充当しております。

その後、翌2024年2月22日～24日に相手国と仕切り直しを行い、実際に韓国を訪問いたしました。また多くの関係者による誘致活動の成果として、2028年世界卓球選手権大会の福岡開催が決定しました。私も県議会公式訪問団の一員として、その誘致活動に参加しました。

3. 今後の政治姿勢について

私に支出された海外関連の政務活動費は、この「延期に伴うキャンセル料（約6万円）」と、「実際に2月に公務を遂行した旅費（19万円）」のみであり、議会事務局に事前に相談・確認を行い、その取扱いについて説明を受けた上で政務活動費を充当しました。

今回の報道を契機に、改めて私自身の活動についてご説明させていただきます。

今後も県民の皆様へ説明責任を果たします。

なお、私は過去に所属していた会派（緑友会福岡県議団）においても、会派代表代理として公式の海外訪問に参加したことがあります。当時の旅行契約や経費については、会派が一括して管理しており、私は個々の契約内容や費用の詳細を把握しておりませんでした。

しかし、時代とともに県民の皆様が行政や議会に求める説明責任や透明性は、ますます重要になっています。私自身も、その認識に立ち、海外訪問に参加した際には、その目的や活動内容、成果について県政報告やホームページ、SNSなどを通じて県民の皆様へご報告してまいりました。今後も、経費を含め、県民の皆様に分かりやすく説明する姿勢を大切にし、信頼される県政の実現に努めてまいります。

このページをご覧いただきたい理由

- ✓ 今期の海外活動は韓国1回です。
- ✓ 視察内容は帰国後すぐ公開しました。
- ✓ 今回は当時の記事をそのまま掲載しています。
- ✓ 今後も説明責任を果たします。

現在、福岡県議会の海外活動について、県民の皆様から様々な意見をいただいております。

税金を原資とする以上、その必要性や成果について説明責任を果たすことは、議員として当然の責務です。

一方で、私はこれまで海外活動を通じて強く感じてきたことがあります。

それは、「福岡県はアジアとともに発展する県である」ということです。

福岡県は日本の玄関口として、韓国、中国、台湾、タイをはじめアジア諸国との交流によって発展してきました。私は、海外活動の目的というのは、「福岡県の未来につながる交流」であると考えていますし、文化・経済・青少年など地域間交流の活動が何よりも福岡県の将来にとっても大切だと思います。

### ① タイとの交流は「経済」を未来へつなぐ

福岡県タイ友好議員連盟の活動では、タイとの友好関係を深めるとともに、企業進出や人的交流の拡大について意見交換を重ねてきました。

また、福岡県へのタイ国総領事館設置についても、交流の拠点づくりという観点から提案・働きかけを行ってきました。

総領事館は外交施設であるだけでなく、企業活動、観光、教育、留学生交流など幅広い分野に波及効果をもたらす重要な拠点になると考えています。

### ② 韓国との交流は「地域課題」を学ぶ機会

韓国では、多文化共生、地域振興、物流、交通政策などについて調査するとともに、地方議会との意見交換を行っています。

人口減少や少子高齢化など、福岡県と共通する課題も多く、海外の先進事例を学ぶことは、福岡県政を考える上でも大きな参考になりました。

### ③ 海外福岡県人会との交流は「人」を未来へつなぐ

海外で活躍されている福岡県人会の皆様との交流を通じて、改めて感じたことがあります。それは、世界中で福岡を愛し、応援して下さる方々が数多くおられるということです。

県人会の皆様は、それぞれの国で福岡県と現地を結ぶ「民間外交」の担い手として、経済、文化、教育など幅広い分野で交流を支えておられます。

こうした人的ネットワークは、行政だけでは築くことのできない貴重な財産であり、福岡県の国際化を支える大きな力であると感じています。

海外活動は、福岡県にどのような人脈を築いたか、県政にどのような提案を行ったか、地域にどのような成果を持ち帰ったか、そして県民の皆様へどのように説明したか、が最も重要であると考えています。

そのため、帰国後はホームページ、Facebook、県政報告などを通じて活動内容を公開し、県民の皆さんへの説明を続けてまいります。海外活動は終点ではなく、福岡県政への新たな出発点です。

私はこれからも、学んだことを県政に生かし、その成果を県民の皆さんへ分かりやすくお伝えしてまいります。

私は、海外活動は「行くこと」ではなく、「県政に活かすこと」、そして「県民の皆様へ説明すること」、そのことが議員の責任であると考えています。

## 福岡県の未来を拓く海外活動

～アジアとの交流を県政の力に～

福岡県は「アジアに開かれた交流拠点」を県政の大きな柱としています。私は、海外活動を通じて学んだことを県政に生かし、地域の発展と県民の豊かな暮らしにつなげていきます。



### 【福岡県の基本的な考え方】

福岡県は、「アジアに開かれた交流拠点」を県政の大きな柱としてきました。その理由は、福岡空港・博多港という国際交通の拠点を持つこと、韓国・中国・台湾をはじめアジアとの距離が近いこと、製造業、半導体、自動車、食品など県内企業の海外展開が進んでいること、インバウンド観光や留学生の受入れなど、人的交流が地域経済を支えていることにあります。

つまり、海外との交流は福岡県にとって、「経済政策」「観光政策」「産業政策」「国際交流政策」そのものなんだと認識しています。

### 一連の高額海外視察について

一部で報じられている「1人あたり数百万円」とも言われる高額な海外視察や、その不透明な使途について、「あまりにも常識外れだ」「血税の無駄遣いだ」と激しい怒りを感じられるのは当然のことであり、私も全く同感です。

地方議員の海外活動は、そのミッション（使命）と目的を明確にした上で、県政に活かす具体的成果を出すためのものであるべきです。原資が税金である以上、厳密にコストを抑え、帰国後に「どのような成果を県政に持ち帰ったのか」を説明できなければ、行く価値はないということでもあります。

“県民目線のコスト感覚”と“徹底した情報開示”県民の皆さんに胸を張って説明できる議員活動を行っていくことを、ここに固くお誓いいたします。

海外活動は終点ではなく、福岡県政への**新たな出発点**です。

学んだことを県政に生かし、その成果を県民の皆様へ分かりやすくお伝えしてまいります。



# 正副議長選出を巡る報道について

～県民の皆様へ、私の率直な考え～

このたび、福岡県議会の正副議長選出を巡り、金銭授受に関する報道が相次ぎ、多くの県民の皆様にご心配と不信感を抱かせる事態となっています。私自身も、一人の県議会議員として、大変重く受け止めています。



## 現在の状況

### 県議会への信頼が大きく揺らいでいます

- 海外活動を巡る問題
- 正副議長選出を巡る報道
- 政治とお金への不信
- 説明不足との指摘



## 信頼回復の4本柱

### ① 事実の解明

客観的・公正な調査により、事実関係を明らかにします。



### ② 説明責任

県民の皆様に対して、分かりやすく丁寧に説明責任を果たします。



### ③ 議会運営の透明化

議長選出のルールや議会運営の透明性を高め、公正で開かれた議会を実現します。



### ④ 県民の信頼回復

誠実な行動と改革の積み重ねで、県民の皆様から信頼される県議会を取り戻します。



## 私の基本的な考え

- ✓ 事実は正確に明らかにすること
- ✓ 隠さず、説明責任を果たすこと
- ✓ 議会運営の透明性を高めること
- ✓ 県民目線で改革を進めること

## 私の立場

私は3年前に自民党県議団に加入しましたが、正副議長選出のプロセスや、その中枢での具体的なやり取り、金銭の授受といった話については、一切関知しておらず、直接見たことも聞いたこともありません。日々、自身の地域（田川郡）の課題や委員会活動に専念しています。

## 私がこれから取り組むこと

- 地域課題に真摯に取り組めます
- 委員会活動を丁寧に行います
- 情報発信を続けます
- 議会改革について積極的に意見を述べます

## 私はこう考えています

「知らなかった」だけでは信頼は戻らないと思います。議員一人ひとりが**説明し、改革し、結果を示すこと**が信頼回復への第一歩であると考えています。



## 県民の皆様から信頼される県議会へ

開かれた議会、説明責任を果たす議会を実現するために、全力で取り組んでまいります。



**信頼は、一日では築けません。**  
**だからこそ、一つひとつ誠実に積み重ねてまいります。**

正副議長選出を巡る報道について  
～県民の皆様へ、私の率直な考え～

このたび、福岡県議会の正副議長選出を巡り、金銭授受に関する報道が相次ぎ、多くの県民の皆様にご心配と不信感を抱かせる事態となっています。私自身も、一人の県議会議員として大変重く受け止めています。私は3年前に自民党県議団に加入いたしました。その中核での具体的なやり取りや金銭の授受といった話については一切関知しておらず、直接見たことも耳にしたこともありません。

しかし、「知らなかった」だけで済む問題ではないと考えています。県民の皆様から選ばれた県議会議員である以上、議会全体の信頼が損なわれれば、その責任の一端は私たち全員が負うべきものです。

だからこそ私は、以下の取り組みが何より重要であると考え、強く訴えてまいります。

・事実関係を明らかにすること

・厳正な調査が行われること

・正副議長選出の透明性を高めること

・県民への説明責任を果たすこと

私はこれからも、県民の皆様からの信頼を取り戻すため、誠実に県政活動が続けるとともに、開かれた県議会の実現に向けて全力を尽くしてまいります。

福岡県議会議員

神崎 聡

